



《白い月》より



《白い月》より



《黒い月》より

35mmフィルムで日記をつけるように撮った写真を、
ライブスライドショーのかたちで発表をつづけるトヨタヒトシ。
アナログのスライド映写機から一枚一枚映しだされるイメージは、
わたしたちの日々の記憶に触れながら、つかみ取る間もなくそっと消えていきます。

比治山公園内、広島市現代美術館(改修工事のため休館中)のまわりで
トヨタヒトシの「映像日記/スライドショー」を実施します。
野外に設置される大きなスクリーンには、
トヨタの手によって縫いあわされた時間が浮かびあがります。

TOYODA HITOSHI

3.26 SAT. OPEN 18:00 / START 18:40 **事前申込**

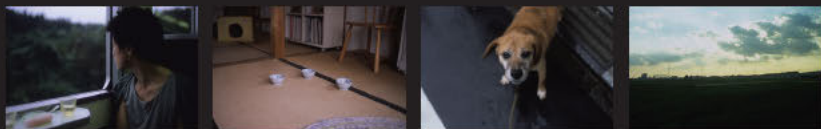


《白い月》2010-2022 / 60 min / 35mm slide film / silent

ある4月の朝/この街に住みはじめて何年になるのだろうか/台所の窓/エリー湖/寄せては返すもの/
波のない日は底に沈んでいるのが見えた/食卓/蚊柱/きのう、イラクの町で62人が亡くなった/
なんでもない会話/いつもそこにいた/無差別の死/北の寺へ/寄せては返すもの/静かな光/冬へ
——ある年の春から冬へと向かう、ニューヨークでの日々。長編映像日記第6作。

トヨタヒトシ/1963年生まれ。1986年の渡米をきっかけに独学で写真を始め、1993年よりニューヨークを拠点にし、ブロードウェイ沿いの駐車場やチャイナタウンの公園、教会、劇場といったパブリックスペースにおいて、「映像日記」を発表し始める。2000年より日本各地の美術館やギャラリーなどのアートスペース、山奥の廃校になった小学校の校庭、三内丸山遺跡、米国各地の映画祭・芸術祭、またヨコハマトリエンナーレ2014などで上映を続けている。2012年より日本を拠点に活動。

3.27 SUN. OPEN 18:00 / START 18:40 **事前申込**



《黒い月》2010-2022 / 80 min / 35mm slide film / silent

初夏の日本/孤独感、疎外感による事件が矢継ぎばやに起きた時期だった/7月の川/
いつもの道/争いに勝った者の意見が正しいのか/鎌倉/「私にはなにもない」、と/花/午後/
丘の上は思ったよりも風が強かった/いくつもの野/どんな風景も完結はせず、ただ光があり、
時間があった。闇があった。/暮らし/夜/約束/秋
——ある年の初夏から冬へと向かう、日本での日々。長編映像日記第7作。



お申し込み方法

当館ウェブサイト内の「トヨタヒトシ 映像日記/スライドショー」ページ(https://renovation2023.hiroshima-moca.jp/program/toyoda_event20211016/)から参加申し込みフォームにて、3月10日までにお申し込みください。申し込み多数の場合は抽選となります。



広島市現代美術館

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1
Tel. 082-264-1121
<https://renovation2023.hiroshima-moca.jp/>

広島市現代美術館は改修工事のため休館中(2023年3月リニューアルオープン予定)。館外やウェブサイト、SNS等で多彩な活動を展開しています。

